

3 団体合同懇親パーティ開催レポート

2026年6月12日
一般財団法人ベターリビング
広報部

去る6月5日夕刻、グランドアーク半蔵門(東京都千代田区)において、一般社団法人リビングアメニティ協会(ALIA)および一般社団法人ベターライフリフォーム協会(BLR)と合同で懇親パーティを開催いたしました。日頃よりご支援・ご厚誼をいただいている約420名の皆様にご参加いただきました。

本レポートでは、おいでいただいた皆様への御礼とともに、その報告をいたします。

1. 開会



CBL 眞鍋理事長

はじめに、主催者を代表して当財団理事長の眞鍋より、「この一年、今日的ニーズに合わせた優良部品の対象拡大にくわえ、人生100年時代のリフォーム応援WEBサイト、ブルーアンドグリーン第三次プロジェクトSNS(X)による情報発信を開始した。また、改正された建築関連法やISO規格に基づく審査でも、多様な問合せや申請に対応するサービス向上に努めた。能登半島の倒壊建築物の調査では、専門家を派遣してデータ収集を行った。パッケージエアコンやリチウムイオン蓄電池収納箱を対象とする試験への依頼も広がった。LCC(ライフサイクルカーボン)の算定結果の検証や部品の原単位の認証等、未知の領域への準備も進めている。産官学の皆様に少しでも役立つよう、ベターなジョブを通じてベターなカンパニーであるために努力していく」と開会の挨拶を申し上げました。



ALIA 魚津新会長

次に、一般社団法人リビングアメニティ協会(ALIA)の魚津彰新会長より、「中東情勢等の不透明な環境の中でも、コスト構造に耐えうる生産体制を確立して、消費者の方に安定した製品供給を継続していくことが最優先課題であること、既存住宅ストックを最大限活用しながら、人生100年時代の住生活を支えていく基盤の再構築を目指していくために、皆様との技術とネットワークを集結して推進していきたい」とご挨拶がありました。

2. ご来賓挨拶、乾杯

ご臨席いただいた来賓を代表して国土交通省の宿本尚吾住宅局長より、「昨今の中東情勢における困難な状況も、業界の皆さまと一致団結して乗り越えていきたい。概ね50年前に、建設省住宅生産課、ベターリビングが発足し、今の住宅市場を形成する仕組みが出来上がった。その後25年経ち、住宅品確法が制定され、住宅の質を向上させる市場の環境整備がなされた。そのゴールとして、昨年の省エネ基準の適合義務化により、新築住宅の質を向上させる社会的枠組みが出来上がった。これを既存住宅の世



国土交通省 宿本住宅局長

界に広げていく必要があり、3月に決定した住生活基本計画の中に大きく位置付けている。広がる空き家問題にも、リフォーム等を通じて流通を活性化させ対応していきたい。計画で絵を描いたダルマに、皆様が目を入れていただき、力強いご支援をたまわりたい。横浜グリーンエキスポにおいても、一緒に機運を盛り上げていただきたい。」とお言葉をいただきました。

続いて、一般社団法人ベターライフリフォーム協会（BLR）の橋本政昭会長からは、AIで生成した会長の動画を使った協会の紹介があり、3団体が連携して優良なリフォームの普及に努めていきたいとの決意とともに乾杯の発声が行われ、賑やかに親睦が幕をあけました。



BLR 橋本会長



AIで生成された
橋本会長

3. 懇談、中締め

三団体の関係者と産官学のご来賓が一堂に会する貴重な機会です。普段はなかなか会えない方にも、このパーティで出会えたという声も聞かれます。多くの方が語り合う場で、楽しい時を過ごすことができるのは、主催者冥利に尽きます。



CBL 西山常務理事

いつまでも話が尽きない中、瞬く間に時間が過ぎ、最後に、当財団の西山常務から、

「パーティの間中、和やかな笑い声が聞こえました。この会が皆様のリアルな繋がりに一役買ったのであれば幸いです。お帰りの際におわたしする記念品は、①恒例の丈夫な手ぬぐい、②ブルーアンドグリーングッズのシール、③財団の新しいパンフレットです。ぜひご覧ください。現在の環境には厳しいものがありますが、多くの皆さまとの連携があれば、きっと状況は良くなると思います。」

と締めくくり、パーティはお開きとなりました。

4. おわりに

ご参加いただいた皆様のおかげをもちまして、楽しく有意義な時間となりましたこと、心より感謝申し上げます。来年も皆様とお会いできることを心待ちにしております。

ベターリビングの新しい財団案内（パンフレット）は、こちらからご覧いただけます。

財団のご案内 : <https://www.cbl.or.jp/about/index>

パンフレット（PDF） : <https://www.cbl.or.jp/about/file/pamph.pdf>

<問い合わせ> 住 所：〒102-0071 千代田区富士見 2-7-2
担 当：広報部 （03-5211-1402）

